

『かわら版』
第23回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みなさんの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みなさんが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切**です。

外傷予防
の取組

事故やけがを予防するためには、原因を調べ、対策を行う必要があります。セーフコミュニティでは、事故やけがの原因を調べるために、様々な統計データやアンケートなどを分析し、より効果的な取組を実施しています。今回は、外傷予防にどのようなデータを活用しているのか、取組の結果、事故やけががどのように変化してきたのかをご紹介します!



① 外傷予防に活用するデータについて

① 救急搬送データ

市消防局より、救急搬送された人が、いつ、どこで、どの部位を負傷したのかデータ提供をいただいています。これにより、**どのような人が、どのような事故やけがに遭っているのか分析が可能**となり、**子どもや高齢者の安全分野において、転倒・転落などの対策に活用**されています。



② 事故やけがに関するアンケート調査

事故やけがに関する市民の意識などを調査し、予防活動に活用するため、定期的にアンケート調査を行っています。これにより、**既存の取組の評価・検証を行い、より効果的な取組になるよう検討**しています。アンケート結果は、第14回のかかわら版でも紹介しています♪



★ このほかにも、7つの分野に関連する様々なデータを収集・分析しています。

② これまでの取組や成果について (一部抜粋)

交通安全

地域住民や関係団体が主体となり、街頭キャンペーンや交通安全教室において、全席シートベルト着用などの啓発活動を実施

【シートベルト未着用者による交通事故死傷者数】



119人 → 102人
(H25年) 14.2%減少 (H28年)

学校の安全

校内等での事故・けが防止のため、児童生徒が主体となり、「校内パトロール」や「キャプテン会議の開催」などを実施

【小中学校におけるけが防止の実践度】



82% → 86%
(H28年) 4%増加 (H29年)

自殺予防

自殺予防対策委員会委員による連携相談会の実施や、無料相談窓口カードの配布・設置による相談窓口の周知を実施

【中高年(50～69歳)の自殺者数】



46人 → 38人
(H25年) 17.4%減少 (H28年)

防災・災害対策

住民一覧表の作成や、避難者が提出する家族カードの活用により、事前避難を含め住民の避難状況の把握方法を構築

【住民の把握率(桜島全島)】



92.0% → 99.4%
(H28年度) 7.4%増加 (H29年度)

セーフコミュニティ情報お届け掲示板

『第4回セーフコミュニティ推進フォーラム』を開催しました!

セーフコミュニティの取組をより多くの方に知っていただくため、1月26日、『セーフコミュニティ推進フォーラム』を開催しました!地域組織の代表や関係団体など、**約400名**もの多くの方に出席いただき、会場は熱気につつまれていましたよ!



第1部 講話・第2部 各対策委員会活動報告

題:「セーフコミュニティ推進のヒント」

講師:江崎澄孝氏

(早稲田大学社会安全政策研究所招聘研究員)



表彰



国内外に対し、取組事例などを積極的に発信し、日本のセーフコミュニティの推進に大きく貢献したとして、日本セーフコミュニティ功労賞に「**吉野校区安心安全ネットワーク会議**」が選出され、日本セーフコミュニティ推進機構に白石陽子氏(写真左)より、宮里直治会長(写真右)らに表彰状と副賞が贈呈されました。

江崎澄孝氏からは、地域における問題解決の手法や考え方などについて、具体的な事例を交え、講演いただきました。このほか、第2部では、学校の安全、子どもの安全、防災・災害対策の3つの分野から、活動報告を行い、参加者からは、活発な質疑が飛び交いました。



鹿児島市では、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係(市役所東別館3階)
TEL:099-216-1512 FAX:099-226-0748